

## ～ 藤が丘・育みタウン祭 ～

平成26年12月12日～26日まで、園児の作品をフラッグにしてアーケード下に掲示。最終日は地域の大学、若手グループや婦人会と連携し、安心安全をテーマに、地域コミュニティの大切さをPRする多彩なイベントを実施した。

所在地：名古屋市名東区藤が丘162-4-104  
TEL：052-773-7711 FAX：052-778-0061  
URL：<http://www.fujigaoka.or.jp/>  
組合員数：80名  
商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景



藤が丘中央商店街振興組合は、名古屋市営地下鉄「藤が丘駅」周辺の沿道に立地する商店街。藤が丘地区は、昭和40年代に地下鉄駅の建設と区画整理事業によって開かれ、街区には店舗や事業所、集合住宅等が混在し、幅広い世代の交流の場となっている。商店街は、近隣に大学が多い特性を活かして商産学連携にも積極的に取り組んでおり、地域の交流拠点として、また近隣コミュニティの活性化にとって重要な役割が期待されている。

## 実施した事業の概要

## ①安心安全「アートフラッグ展」（平成26年12月12日～26日）

安心安全がテーマの絵を幼稚園児に描いてもらい、それをもとにフラッグを作成。約2週間、アーケードの梁から吊り下げ展示したところ、多数の園児とその家族など関係者が来街した。

## ②「藤が丘・育みタウン祭」の開催（平成26年12月26日）

マルシェのほか、ドラゴンズのマスコット「ドアラ」の着ぐるみサイン会、女性救援隊による炊き出し訓練、大学生が商店街を紹介する「藤が丘DJ」、「安心安全マップ」の配布、プロジェクションマッピングなど多彩なイベントを実施。

マルシェでは、地域の商品の販売や連携事業の紹介により、地域への理解と愛着を育み、「ドアラ」のサイン会では子育て層へのアプローチを図った。夜のプロジェクションマッピングでは、昭和40年代の街開き（地下鉄駅の開業と万博の開催）から現在までの移り変わりを映像で投影し、大勢の観客はレーザー光線の美しさに感動し、当時を懐かしみ地域への理解を深めていた。

## ③藤が丘クリスマス・スタンプラリーの開催（平成26年12月1日～25日）

商店街のお店を回り、買い物をしてスタンプを15個集めると抽選で景品が当たるラリーを行い、年末の書き入れ時に来街・来店を促進した。



## 成果と成功の要因

「アートフラッグ展」は、園児の家族や知り合いの来街につながり、地域に密着した商店街をPRできた。またドラゴンズのマスコット「ドアラ」を招いたことで、さらに親子連れが増え、個店の売上も向上した。

プロジェクションマッピングには、大勢の人が集まり、夜に映える光線の美しさで感動を与え、若者や新住民が地域に関心を持つきっかけにもなった。災害時の心得や通学路こども110番の店、AEDの設置個所が入った「安心安全マップ」には、地図上に会員店舗を明記するとともに、裏面に写真入りの個店情報を掲載し、商店街の認知度向上と個店の利用を促進した。多彩なイベントの実施により、商店街がターゲットとする若年層の集客につながっている。

## 今後の取り組み

子育て層の住民は、年配層のニーズである安心安全や閑静な環境に加え、地域コミュニティ（交流）へのニーズも高い。今回の事業をきっかけに、今後も地区住民や地区内にある愛知学院大学・名古屋学芸大学との連携を強化し、住民の消費性向やニーズを把握して、それに合ったイベント等を実施していく予定。また、近隣にマンションが多く建設されているため、新住民にも会員店舗の特徴をアピールするとともに、店主と気軽にコミュニケーションのとれる環境作りを心掛け、地域社会との交流を深めていきたい。